

クリニックにおける肝炎診療の関わり方



平成27年1月22日
内科阿部医院
戸次 菊枝
大口 市子
阿部 信行

内科阿部医院

- 1979年(S54) 3月5日開院
- 糖尿病を専門とした診療所
患者の約9割が糖尿病
- 糖尿病患者1783名(H26年9月)

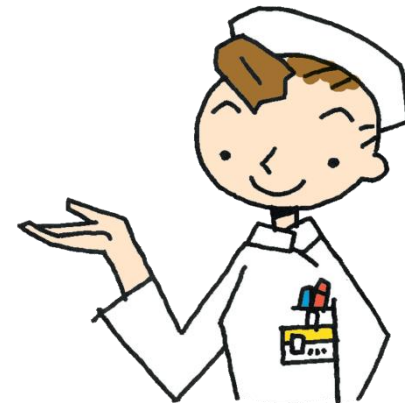
男性1270名 女性513名

1型 127名 2型 1656名

- 肝臓クリニックはH4年より開始

(C型肝炎検査が保険適応となり、ウィルス感染者が多かったため肝臓クリニックが開始となる。)

肝臓クリニック受診者 約60名



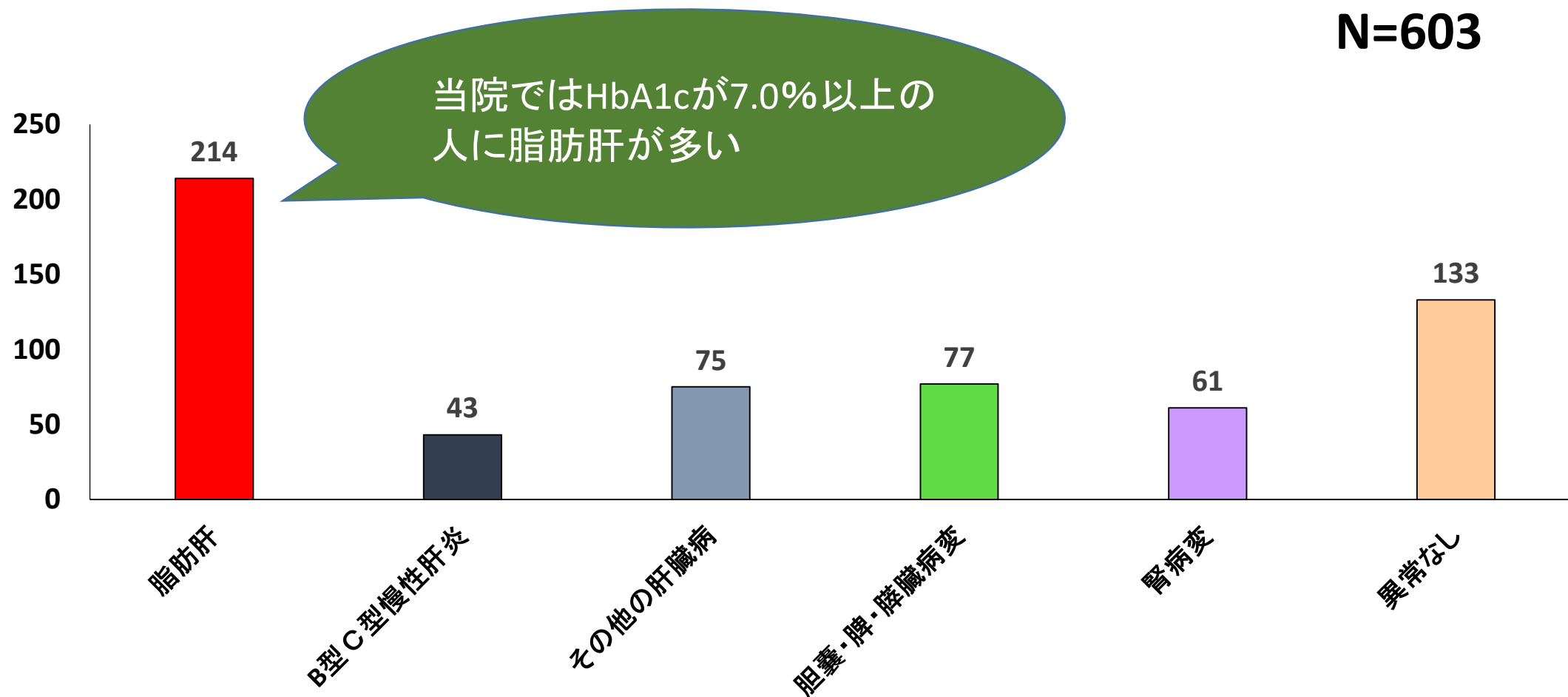
内科阿部医院スタッフ

- 医師 常勤 1名
非常勤 16名
糖尿病(6名) 腎臓内科(4名) 内分泌(2名) 循環器(1名)
消化器(5名) 木・金・土曜日の午前中
第三火曜日午後 肝臓クリニック
- 看護師 13名(CDEJ 5名 LCDE 11名)
(肝炎治療コーディネーター 2名)
- 臨床検査技師 2名(CDEJ 1名 LCDE 2名)
- 管理栄養士 2名
- 事務 7名



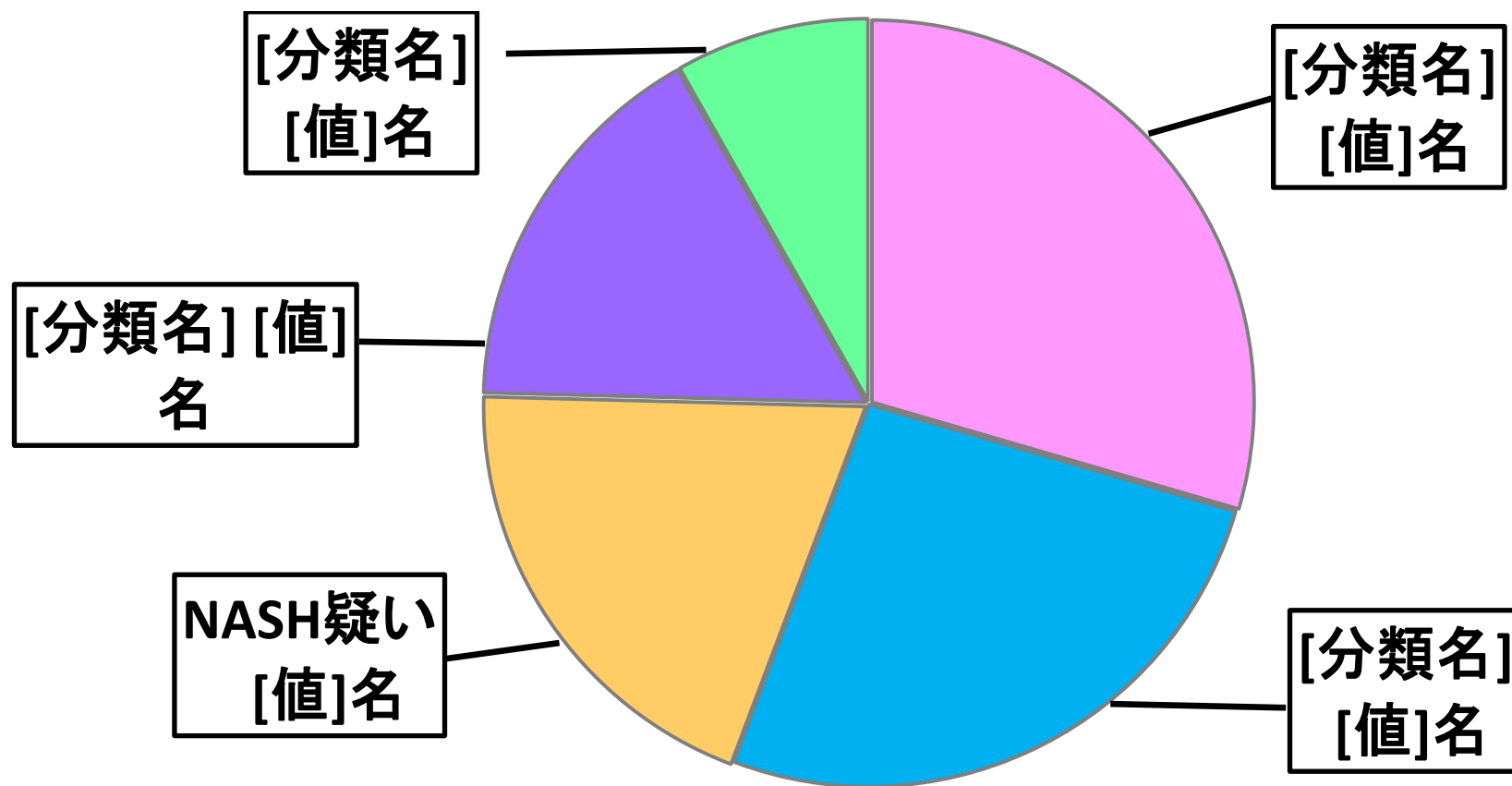
1年間の腹部エコー一件数(H23.2~H24.1)

N=603



肝臓クリニック受診者数

肝臓クリニックは、B型C型肝炎・NASH疑い患者さんを中心に毎月第3火曜日午後診療。



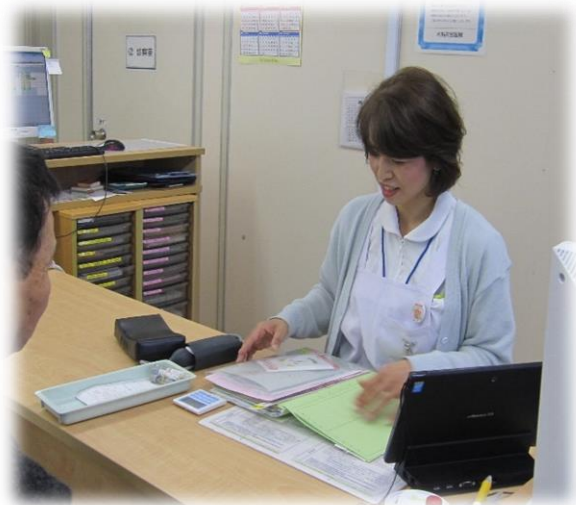
H25年12月～H26年11月肝臓クリニックの患者数61名



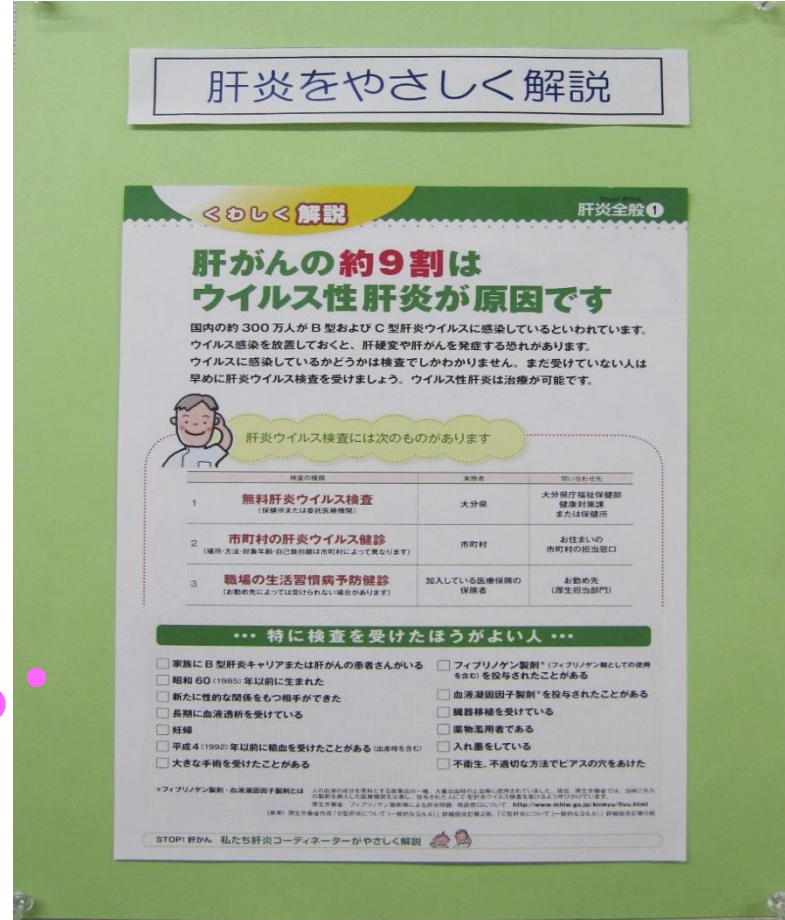
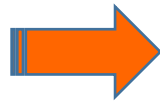
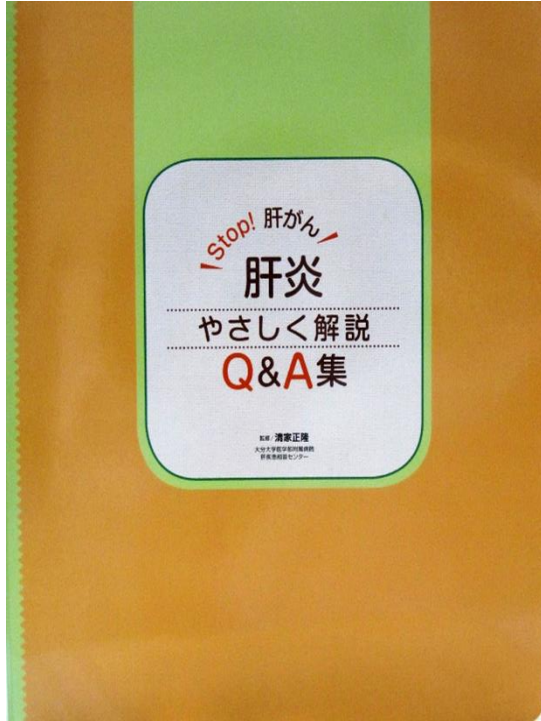
肝疾患に対する取り組み (肝炎治療コーディネーター)

- ① 「Stop! 肝がん！肝炎やさしく解説Q&A集」を掲示して待合室での声かけ
- ② B型C型無料肝炎検査の声かけ(スタッフ全員)
- ③ その他の活動

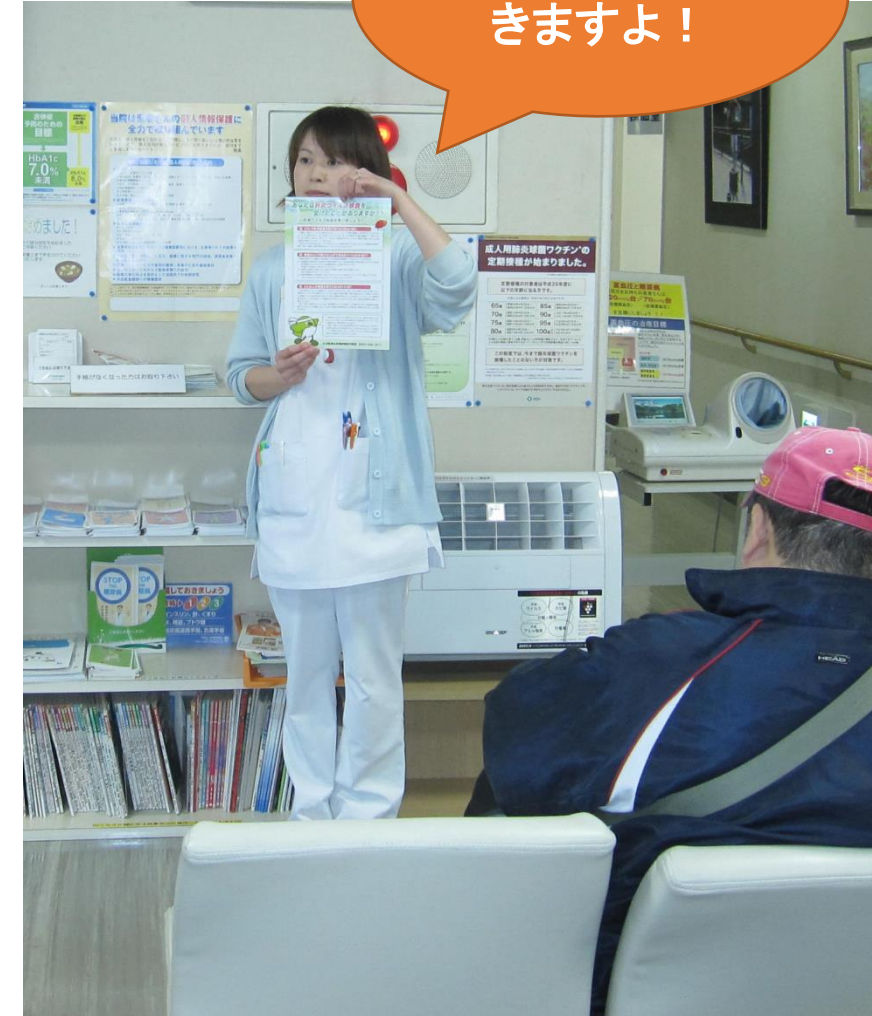
- ・ 体重日記の指導
- ・ 栄養士に体重増加や減量できない患者の指導を依頼
- ・ IFN治療患者の一般状態の把握・困った事などの相談
- ・ 肝臓クリニックの診療中断患者に電話での声かけ
- ・ 検査や治療の関連病院への連絡・手続き
- ・ 異常検査値や腫瘍マーカーをDrに報告
- ・ 肝臓専門医からの情報をスタッフに提供



掲示や待合室での声かけ



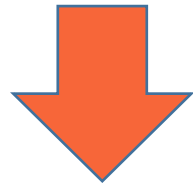
肝炎ファイルから
抜き出し掲示



無料で検査で
きますよ!

B型・C型肝炎検査の取り組み

肝炎検査を受けるように工夫した事



- ・ 待合室にポスター掲示
- ・ 待合室での声かけ

B型C型肝炎検査していない人に対して

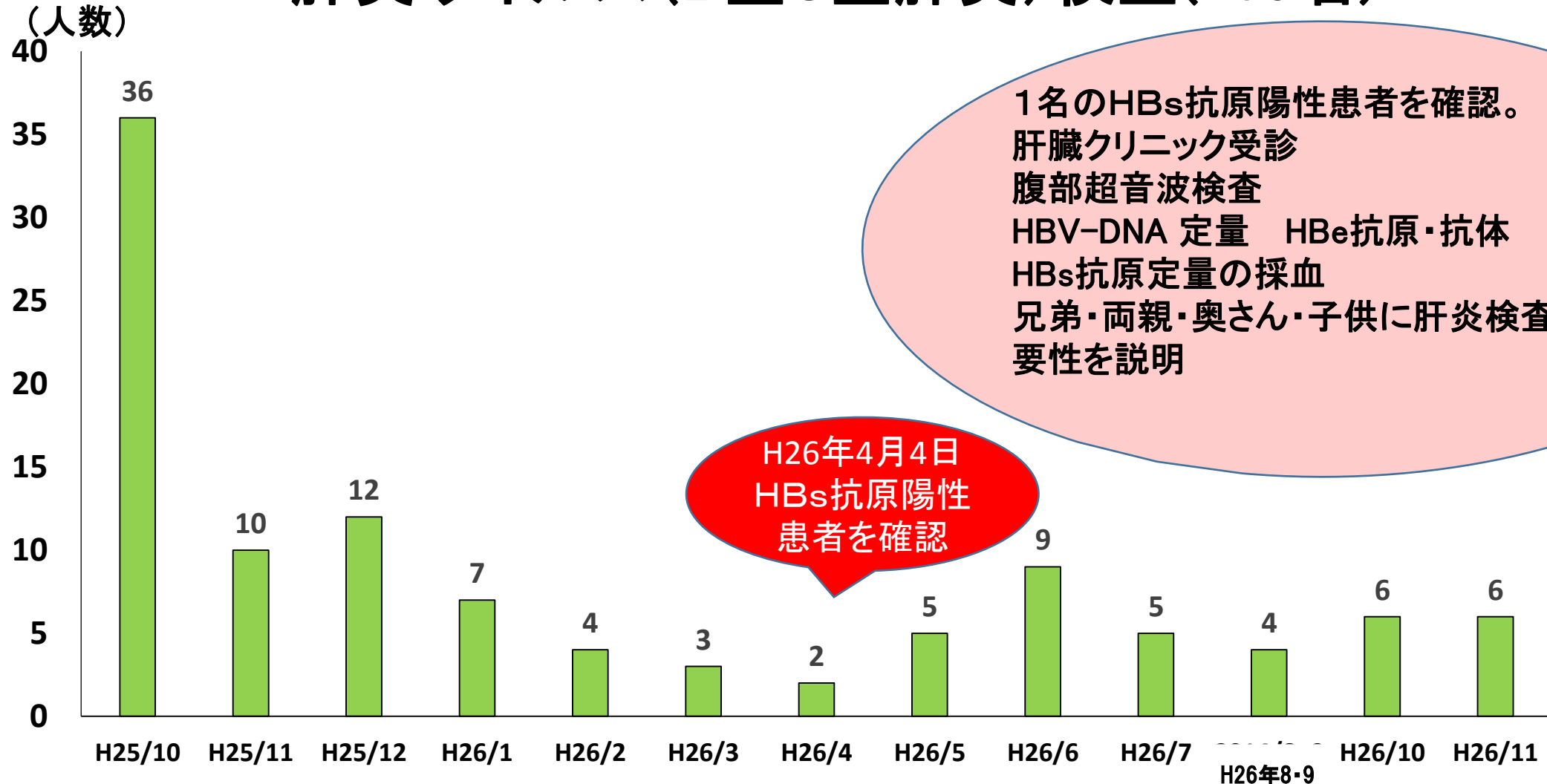
- ・ 腹部エコーや胃カメラの検査時
- ・ 新患糖尿病患者の検査時
- ・ 採血時
- ・ 慢性疾患患者



B型・C型肝炎の検査の件数

(H25年10月～H26年11月)

肝炎ウイルス(B型C型肝炎)検査(109名)



B型・C型肝炎 患者のフォローアップの工夫

- カルテの表紙にB型肝炎C型肝炎の検査の日付けと検査結果を記録
- 検査記録用紙(ピンクカード)を使用して継続検査が出来ているかを確認
- 肝手帳を使用して肝臓治療の経過を記録
他院にも持参するよう声かけ

カルテの表紙に工夫

No. 20010493

2 **社保 本人 診療録** (H27年)(2015年) 内科阿部医院

初診日 平成13年6月21日 公費 負担 30

公費負担者番号 公費受給者番号 保険者番号 0 1 4 4 0 0 1 5 記号番号 13010502 107

フリガナ 有効期限

受診者
氏名 **阿部 太郎** 女 被保険者名
生年月日 昭和43年10月16日 46歳 資格取得 平成13年3月21日
住所
電話 097-593-4295
職種 看護師

被保険者との続柄 本人
名称 内科阿部医院
電話 097-538-1633
連絡先 名前 電話

傷病名	開始	終了	転帰	傷病名	開始	終了	転帰
急性上気道炎	H26年12月24日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
不眠症	H26年12月24日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
急性気管支炎	H26年12月27日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止
	年月日	年月日	治療中止		年月日	年月日	治療中止

GAD抗体 HCV-Ab HBS-Ag
H26 3/4 (+) H26 3/4 (-)

保険証確認 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 公費負担者番号 公費受給者番号

B型肝炎C型肝炎患者は水色のマーカーをしています。

	年月日	年月日	治療中止
GAD抗体	HCV-Ab	HBS-Ag	
	H26 3/4 (+)	H26 3/4 (-)	

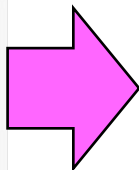
検査した日とウイルスの有無が一目瞭然。



検査記録用紙(ピンクカード)

胸	H22.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20
写										
E K G	22.7.28	H22.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20
CV R-R	7.83									
E K G	4.54									
CV R-R	H26.10.15									
E K G	1.96									
CV R-R	3.89									
E K G										
CV R-R										
E K G										
CV R-R										
腹部エコー	H22.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20
胃カメラ	H25.11.10									
M D L										
C F	H22.11.20									
胸部CT										
腹部CT										
頭部MRI										
UCG										

H27.3
月774



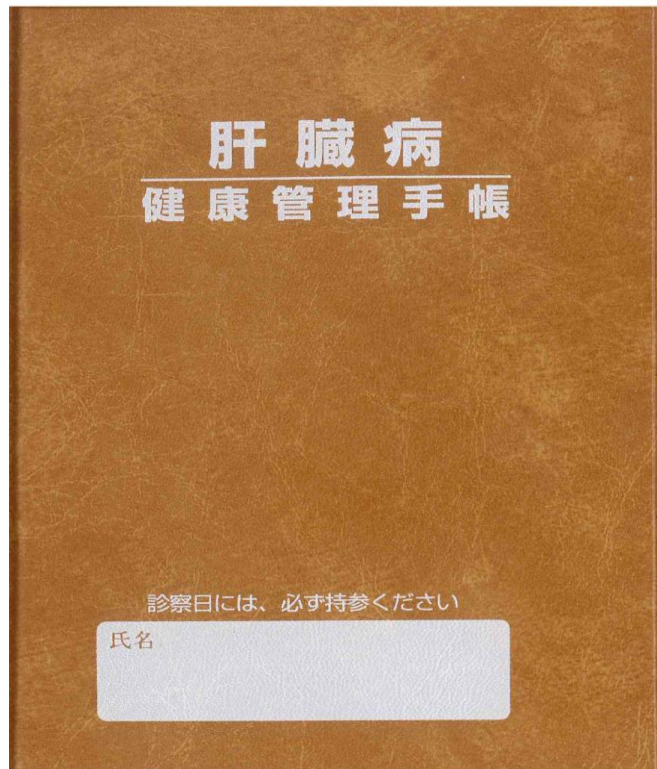
CV R-R	深									
腹部エコー		H22.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20	H23.11.20
胃カメラ		H25.11.10								

H27.3
月774

次回検査予定日が近づいたら
スタッフが患者さんに声かけ

胸写・心電図・腹部エコー・GF
胸部CT・腹部CT・頸部エコー等
検査した日を記入して経過を追
えるように工夫

肝臓病健康管理手帳(肝手帳)



療養記録

項目	検査月日	27年	年	年	年	年	
	1月5日	月	日	月	日	月	日
GOT	17						
GPT	15						
γ-GTP	13						
血小板数	20.0						
白血球数	6660						
ヒアルロン酸							

自覚症状(副作用)など
医師と相談の上必要な項目を記入して下さい。

27. 1. - 5 腹部エコー

肝臓クリニック受診時に持参

血液検査(GOT・GPT・γ-GTP・
血小板・白血球等)と診療内容
(腹部エコー・体重日記等)を記録

症例 Y 氏

- 【年齢・性別】** 77歳・男性
- 【既往歴】** H17年に糖尿病を診断(内服による薬物治療中)
- 【家族構成】** 妻と二人暮らし
- 【身長・体重】** 身長170.5cm 体重64.6kg (BMI 22.2kg/m²)
- 【現病歴】** C型慢性肝炎はH3年より治療開始。
H3年、H15年にIFN治療を他院で行っている。
H17年から当院で6ヶ月毎に肝臓クリニックを受診。
H24年11月より、AST100U/l ALT142U/lと上昇。
健康食品や薬剤・アルコールによる肝障害疑った為、アルコール、塩麴を中止。H25年5月AST75U/l ALT124U/lと肝障害が持続。
大分大学病院で慢性C型肝炎に対して治療開始となる。

IFN導入・治療用パスの活用

- H25年5月から6月まで大分大学病院で
毎週ペガシス90 μ g注射
- C型慢性肝炎でペグインターフェロン
(リバビリン併用)療法を受けられる
患者さんのクリニカルパスを使用して
H25年7月より当院外来で治療継続となる

肝臓専門医が丁寧
にお答えします！

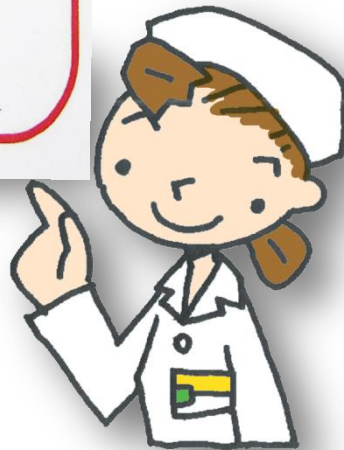
肝疾患についてのご相談は、

「肝疾患相談センター」

大分大学医学部附属病院(肝疾患診療連携拠点病院)

お問い合わせ先 TEL.097-586-5504

(月～金 午前/9:00～12:00 午後/13:00～17:00)



実際のIFNのクリティカルパス

C型慢性肝炎でペグインターフェロン(リバビリン併用)療法を受けられる患者さま
大分大学病院主治医:

経過	9回目	10回目	11回目
項目	7月25日(木)	月 日()	月 日()
検査	血液検査の結果のご記入をお願い致します。 毎日でない項目もあります。		
(ウイルス量)	(logU/ml)	(logU/ml)	(logU/ml)
(AST/ALT)	(/ IU/L)	(IU/L)	(IU/L)
(白血球数)	(/ μ L)	(/ μ L)	(/ μ L)
(好中球数)	(/ μ L %)	(L %)	(L %)
(ヘモグロビン)	(g/dl)	(g/dl)	(g/dl)
(血小板数)	($\times 10^4$ / μ L)	($\times 10^4$ / μ L)	($\times 10^4$ / μ L)
(KL-6)	(U/ml)	(U/ml)	(U/ml)
(AFP)	(ng/ml)	(ng/ml)	(ng/ml)
()	()	()	()
指導	何か気になる症状等がございましたら、遠慮 ご不明なことやお困りのこと等ございましたら		
薬剤	<input type="checkbox"/> 使用されるインターフェロン名は () です。 <input checked="" type="checkbox"/> (90 μ B) (μ B) (μ B) <input type="checkbox"/> 使用されるリバビリン名は () です。 <input type="checkbox"/> (錠・cp) (錠・cp) (錠・cp)		
投与部位	(右上腕部)	()	()
	<input type="checkbox"/> 検査結果を確認後、インターフェロンを投与します。		

IFN注射した日
(検査日)
IFNの回数

IFNの名前

注射部位

C型慢性肝炎でペグインターフェロン(リバビリン併用)療法を受けられる患者さま
大分大学病院主治医:

経過	9回目	10回目	11回目
項目	7月25日(木)	月 日()	月 日()
症状観察	<input type="checkbox"/> 倦怠感 無 軽 中 高 ①---②---③---④ <input type="checkbox"/> 食欲不振 無 軽 中 高 ①---②---③---④ <input type="checkbox"/> 全身障害 (発熱、筋肉痛、めまい、息切れ) <input type="checkbox"/> 消化器症状 (嘔気、下痢、味覚異常etc) <input type="checkbox"/> 皮膚症状 (発疹、掻痒感、脱毛) <input type="checkbox"/> 精神症状 (不眠、うつ状態) <input type="checkbox"/> 呼吸器 (咳嗽、咽頭痛、呼吸困難) <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 倦怠感 無 軽 中 高 ①---②---③---④ <input type="checkbox"/> 食欲不振 無 軽 中 高 ①---②---③---④ <input type="checkbox"/> 全身障害 (発熱、筋肉痛、めまい、息切れ) <input type="checkbox"/> 消化器症状 (嘔気、下痢、味覚異常etc) <input type="checkbox"/> 皮膚症状 (発疹、掻痒感、脱毛)	<input type="checkbox"/> 倦怠感 無 軽 中 高 ①---②---③---④ <input type="checkbox"/> 食欲不振 無 軽 中 高 ①---②---③---④ <input type="checkbox"/> 全身障害 (発熱、筋肉痛、めまい、息切れ) <input type="checkbox"/> 消化器症状 (嘔気、下痢、味覚異常etc) <input type="checkbox"/> 皮膚症状 (発疹、掻痒感、脱毛)
記録(副作用)	<input type="checkbox"/> 体重: 62.8 kg <input type="checkbox"/> 体温 (35.1) <input type="checkbox"/> 血圧 (128 / 79)		
栄養	<input type="checkbox"/> 朝・昼・晩に規則正しく食事をして下さい。適度なタンパク・カロリーを守りましょう。		
活動安静度	<input type="checkbox"/> 慢性肝炎の方は安静にする必要はなく、運動制限もありません。 <input type="checkbox"/> 妊娠する可能性がある女性、パートナーが妊娠している又はパートナーが妊娠する可能性がある男性は、治療中と治療後6ヶ月間は必ず避妊して下さい。 *リバビリン内服中及び終了後6ヶ月間は必ず避妊して下さい。		

倦怠感・食欲不振・全身障害
(発熱・筋肉痛)・消化器症状
皮膚症状・精神症状・呼吸器
症状・体重・体温・血圧を記録

IFN中のY氏の困っている事

IFNのパスを自分で持っている
と自分で管理している
気分で嫌だ！

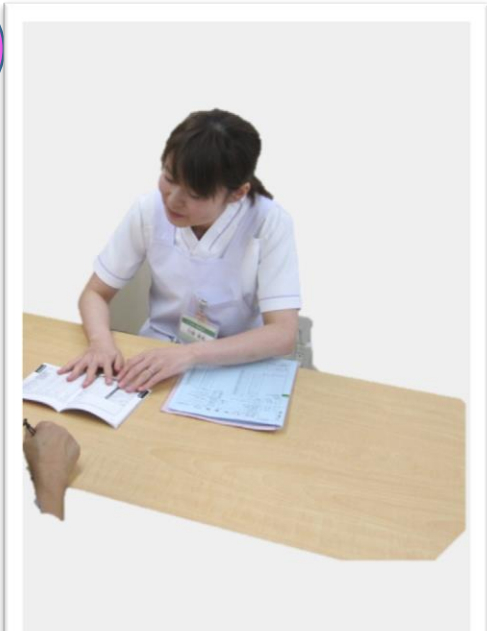
毎回精神症状を聞かれる
と気がめいる

ペガシスを打って8週間
もたつのに、打つ前に血液
検査が必要なのか？

IFN打つ事で苦痛に
感じた事

IFN打った所が痒い。

1年6ヶ月もアルコールをやめなければいけないのか？
現在77歳。お酒を飲めるのはあと2年くらいと思っているのに。



Y氏の困っている事に対して工夫出来た事

・毎回採血が必要なのか？



➡ Y氏が苦痛に思っているのは、採血の結果出るまでの1時間の待ち時間

採血の必要性を説明

➡ 家が近所なので、採血後帰宅して1時間後診察とした

2ヶ月過ぎてCBCが2週に1回
生化学が4週に1回になってからは、Drと相談して注射の日に採血して、本人への結果説明は翌週とした

・毎回精神状症状を聞かれると、気がめいる

➡ IFNを打つことにより焦燥感が強くなる。

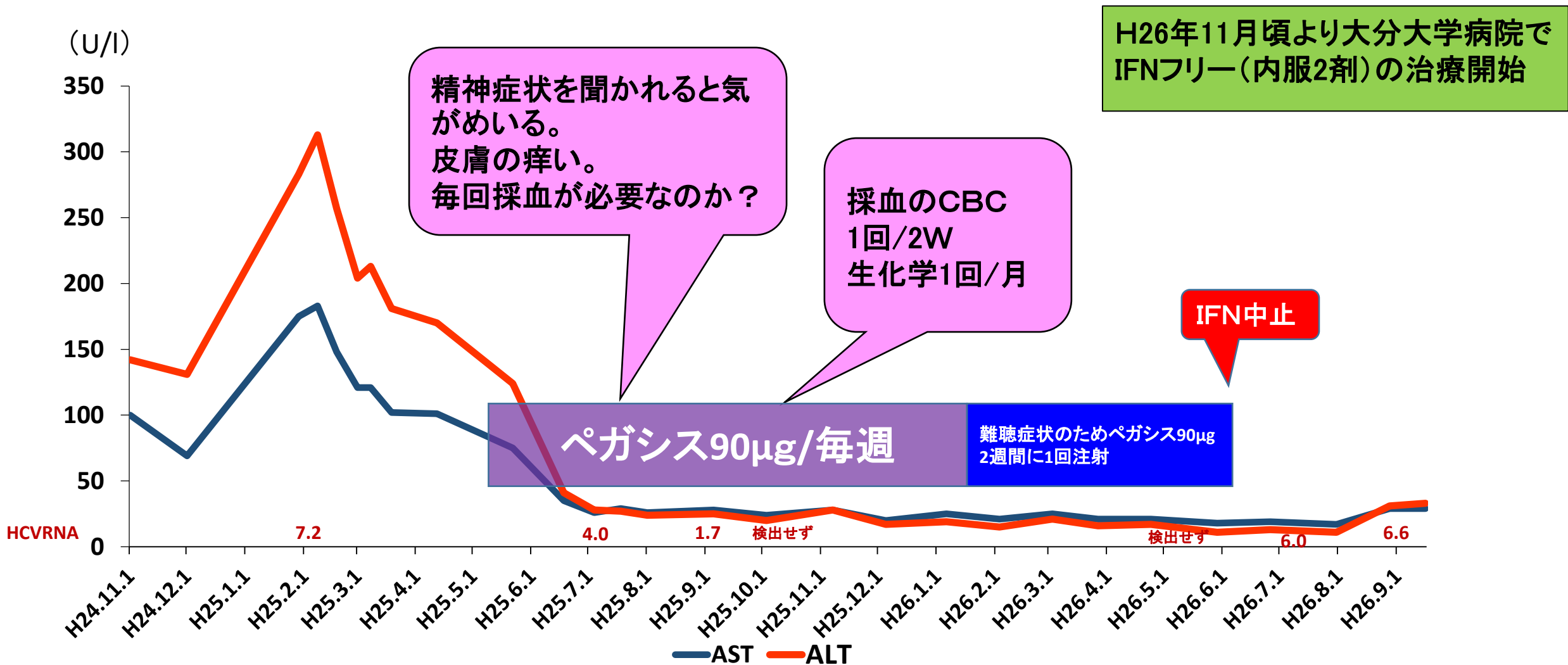
➡ 本人より「自覚症状がある時には言います」を尊重して、一つ一つ詳しく聞かないようにした。

採血時や待合室で声をかけ、表情や身体症状(体重・体温)の変わりがないか観察した

・打った所が痒い

➡ 注射施行時に、前回の注射部位の皮膚を観察
痒みの著しい時にはDrと相談軟膏を処方

Y氏の肝機能とIFNの経過



診察までの流れ(肝炎患者さんに対して)

カルテをみて、B型C型肝炎患者にエコー等定期検査確認
ウィルス検査の有無確認

看護師・臨床検査技師
* 予診・血圧の確認・体重測定・採血

看護師・臨床検査技師
* 検査(心電図 ABIなど)
* 眼科受診のチェック
* 血糖、HbA1c、体重の変動が大きい場合は理由確認

医師の診察

看護師・臨床検査技師
* クリニカルパスによる指導
* インスリン、GLP-1、SMBG指導
* コントロール不良の話し合い

次回の診察
予約や他院での検査の説明

受付

肝手帳提出

患者
食事時間
糖尿病手帳・眼手帳・SMBGノート
食事記入用紙提出
採尿 血圧測定

患者
血糖・HbA1cの予測値を伝える
採血

管理栄養士
* 食事聞き取り調査
* 栄養指導

管理栄養士
* 栄養指導

体重日記の患者の食事の聞き取りと栄養指導のお願い

会計



肝炎治療コーディネーターの役割

- 外来患者にB型C型肝炎の検査をアピールする
- B型C型慢性肝炎の治療中断患者に電話で呼びかけ
- B型C型慢性肝炎患者で肝臓専門医の診察を受けていない患者に
診察をすすめる
- 肝炎患者と家族からの相談対応
- 肝臓専門医からの情報をスタッフに提供
- 他院と交流して情報交換
- 肝炎患者の経過を把握して医師とスタッフに報告し情報を共有



ご清聴ありがとうございました

